

2017年3月卒業予定者の

就職活動に関する 学生調査

2016年
3月1日状況

3割の学生が
面接・試験段階へ
突入




アイテム 人と仕事研究所

WEBサイトでは、採用活動の
ヒントとなる情報を発信して
います

<https://apj.aidem.co.jp/>

人と仕事 

 「就職活動に関する学生調査」
「新卒採用に関する企業調査」
学生と企業の「今」がわかります

株式会社アイテム
〒160-0022 東京都新宿区新宿1-4-10
アイテム本社ビル

お問い合わせ
▶ 広報担当 / 望月・栗木 ▶ 調査担当 / 岸川・菊地
☎ 03-5269-8780 ✉ kouhousitu@aidem.co.jp

結果概要

2017 就職活動に関する学生調査
(2016年3月1日状況)

進捗状況

▶現在のステータス

【主な活動】

「準備活動段階」	18.7%
「エントリー活動段階」	60.5%
「面接・試験段階」	10.9%

【各活動ステータスに到達した学生の割合】

「エントリー活動段階」	78.3%
「面接・試験段階」	30.0%

3割の学生が面接・試験段階へ突入、前年よりやや早い進捗

▶1日の活動時間

「就職活動に費やす時間」は3.7時間で、前回調査(2月1日時点:2.0時間)から1.7時間の大幅増加
「学業に費やす時間」は2.5時間で、前回調査(2月1日時点:3.8時間)から1.3時間の減少

▶会社説明会参加回数

「1~2回」	23.8%	「3~4回」	17.8%
「5~9回」	25.1%	「10~19回」	16.0%

▶応募企業数

「0社」	25.4%	「1社」	17.4%
「3~4社」	12.8%	「5~9社」	16.1%

平均7.2社 前年同月調査(平均8.1社)よりも少ない

▶エントリーシート・履歴書提出企業数

「0社」	45.7%	「1社」	21.3%
「2社」	9.3%	「3~4社」	10.9%

平均1.9社 前年同月調査(平均1.9社)と同値

▶面接選考企業数

「0社」	15.7%	「1社」	32.8%
「4社以上」	20.7%		

平均2.5社 前年同月調査(平均2.6社)とほぼ同じ

▶現在選考中の企業数

「0社」	48.9%	「1社」	21.8%
「2社」	11.7%		

▶行なった準備・対策

「就活ナビサイトへの登録」	89.1%
「インターンシップ」	65.8%
「自己分析」	65.6%

2016年卒学生に比べ、「SPI等の適性検査対策」の増加が目立つ

▶準備・対策を開始した時期

「就活ナビサイトへの登録」は「6月」が最多
「インターンシップ」は「8月」「2月」が多い
「学校/キャリアセンターの就職ガイダンス」は「4月」「10月」「12月」が比較的多い
その他多くの対策は、「12月」「1月」「2月」前後に始めた学生が多い

企業選定の志向

▶企業規模に対する志向

「大企業志向」	52.5%
「中小企業志向」	22.3%
「企業の規模は全く意識していない」	25.2%

▶志望業界

男性は「メーカー」「ソフトウェア・通信」「商社」
女性は「メーカー」「サービス」「商社」

▶志望職種

男女ともに上位は「事務・管理系」「企画系」「営業系」

学生の意識

▶就職活動の進捗感

「予定より進んでいる(進んでいた)」	10.5%
「予定通り」	30.8%
「予定よりも進んでいない(進んでいなかった)」	58.7%

▶企業に評価される自信のあるもの

「人柄・性格」	57.4%	「アルバイト経験」	33.5%
「課外活動」	32.3%		

企業が重視するポイントの1つの「志望動機」は14.3%に留まる

▶キャリアアンカー

「個人的な活動、家族、仕事のバランスをうまくとりたい」が4.11ポイントで最も高い
学生の意識と、企業側のアピールポイントに大きなずれ

▶企業に公表してほしい情報

「新卒採用者数・離職者数」が1位、以降「所定外労働時間の実績」、「有給休暇取得日数」と続く
企業が公表できている項目とは大きな食い違いが見られる

i N D E X

●	調査概要	p. 4
1	就職活動の進捗状況	p. 5
2	企業規模に対する志向	p. 6
3	1日の活動時間	p. 7
4	会社説明会参加回数	p. 8
5	応募企業数	p. 9
6	エントリーシート・履歴書提出企業数	p.10
7	面接選考企業数	p.11
8	現在選考中の企業数	p.12
9	就職活動の準備・対策	p.13
10	就職活動の準備・対策を開始した時期	p.14
11	利用する情報媒体	p.15
12	志望業界	p.16
13	志望職種	p.17
14	就職活動の進捗感	p.18
15	企業への新たな応募予定(3月)	p.19
16	3月の説明会参加予定	p.20
17	志望業界を志望している理由	p.21
18	志望職種を志望している理由	p.22
19	企業に評価される自信があるもの	p.23
20	キャリアアンカー	p.25
21	企業に公表してほしい情報	p.26

調査概要

調査目的

2016年3月1日時点における就職活動の準備・進捗状況等から、就職活動を行なう学生の実態を明らかにすること

調査対象

2017年3月卒業予定で、民間企業への就職を希望している大学3年生・大学院1年生の男女

調査方法

インターネット調査

調査期間

2016年3月1日～4日

有効回答

659名

「JOBBRASS 新卒」登録学生（336名）、株式会社クロス・マーケティングのアンケートモニター（323名）

※本調査は小数点以下第2位を四捨五入しているため、結果が100.0%にならない場合があります。
 ※「平均回答個数」とは、複数回答形式の設問において各回答者が回答した選択肢の個数の平均を示しています。

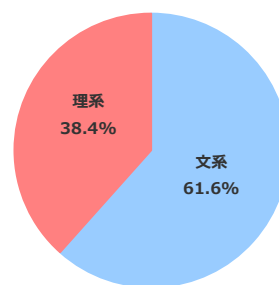
居住地域	回答数	(%)
北海道・東北地方	33	5.0
関東地方	305	46.3
北陸・甲信越地方	13	2.0
東海地方	42	6.4
近畿地方	215	32.6
山陰地方	16	2.4
四国地方	8	1.2
九州地方	27	4.1
合計	659	100.0

専攻	回答数	(%)
文系	472	71.6
理系	187	28.4
合計	659	100.0

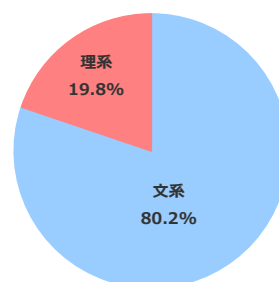
所属サークル	回答数	(%)
文化系	209	31.7
体育会系	148	22.5
イベント系	46	7.0
無所属	256	38.8
合計	659	100.0

性別	回答数	(%)
男性	305	46.3
女性	354	53.7
合計	659	100.0

男性



女性



就職活動の進捗状況

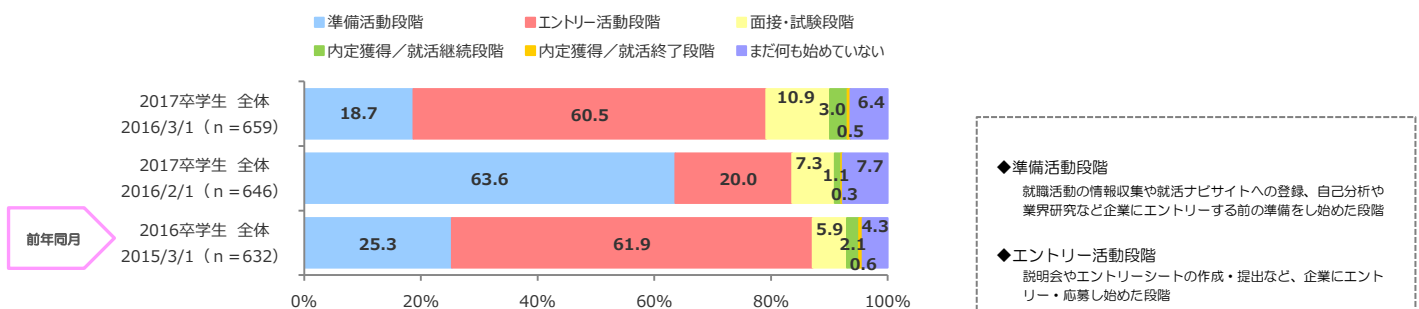
学生に、2016年3月1日時点の就職活動において、“現在行なっている<主な活動>”を聞いた。「エントリー活動段階」と回答した学生が最も多く60.5%となった。「エントリー活動段階」と回答した学生は、前回調査（2016年2月1日状況）より40.5ポイント増加し、一気に就職活動が進んだ様子がわかる（図1.1）。

また、<主な活動>において「準備活動段階」「エントリー活動段階」「面接・試験段階」のいずれかを回答した学生に、<最も選考が進んでいる企業の状況>を聞いた。「準備活動段階」17.0%、「エントリー活動段階」53.5%、「面接・試験段階」27.8%となっている（図1.2）。

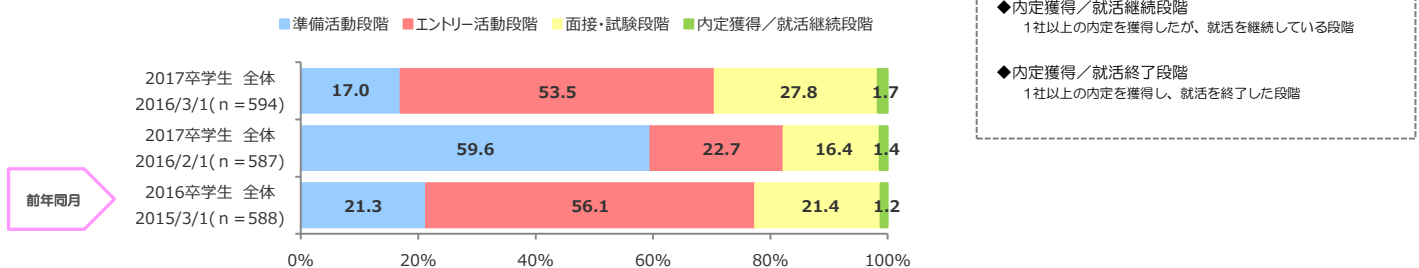
<主な活動> <最も選考が進んでいる企業の状況>を合わせて、実際にどのくらいの学生が、就職活動の各活動ステータスに到達しているかを見た。「準備活動段階」は、調査対象の全学生のうち93.6%、「エントリー活動段階」78.3%、「面接試験段階」30.0%、「内定獲得段階（“内定獲得/就活継続段階”と“内定獲得/就活終了段階”の計。以下“内定獲得率”）」5.0%となっている。「エントリー活動段階」に到達している学生が約8割、さらに「面接・試験段階」に達している学生も3割となった（図1.3）。

前年同月調査（「2016年3月卒業予定者の就職活動に関する調査 2015年3月1日状況」以下、前年同月調査）と比較すると、全体的に昨年よりも早い進捗状況となっているようだ（図1.1、図1.2、図1.3）。

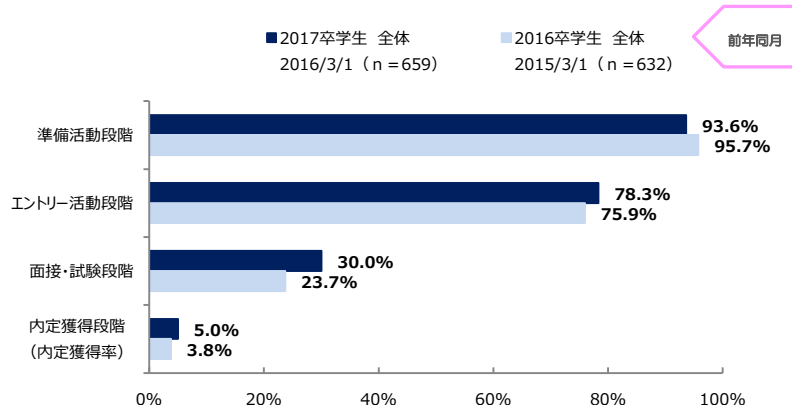
【図1.1】現在の就職活動のステータス：<主な活動>



【図1.2】現在の就職活動のステータス：<最も選考が進んでいる企業の状況>



【図1.3】各活動ステータスに到達した学生の割合



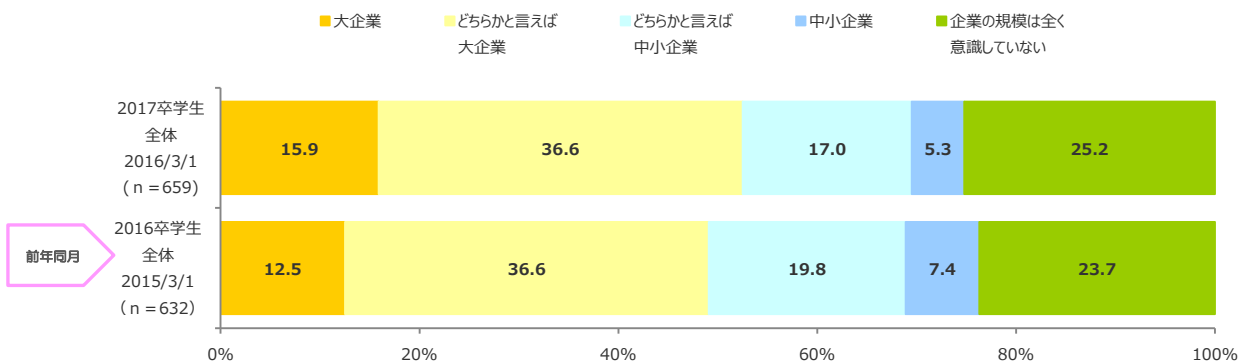
企業規模に対する志向

学生に、就職活動を行なうにあたり、大企業と中小企業のどちらを志望する気持ちが強いかを聞くと、「大企業」「どちらかと言えば大企業」を合わせた回答が52.5%に上った。「中小企業」「どちらかと言えば中小企業」と回答した学生は合わせて22.3%、「企業の規模は全く意識していない」学生は25.2%となった。前年同月調査と比較すると大企業志向の学生が若干多く、中小企業志向の学生が少ない傾向となっている（図2.1）。

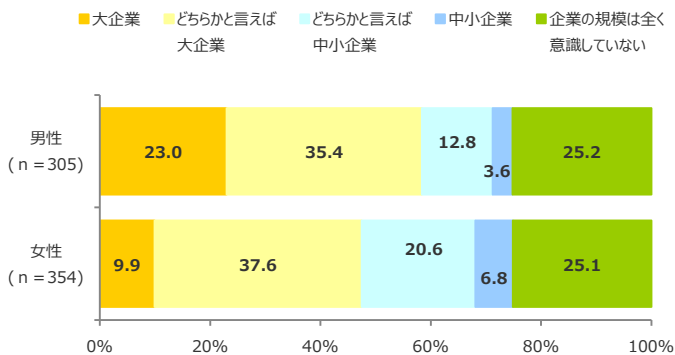
男女別で見ると、男性は大企業志向が58.4%と、女性の47.5%よりも高い（図2.2）。

文理別で見ると、大企業志向の学生の割合は文系で51.5%、理系で55.1%と、大きな違いは見られない（図2.3）。

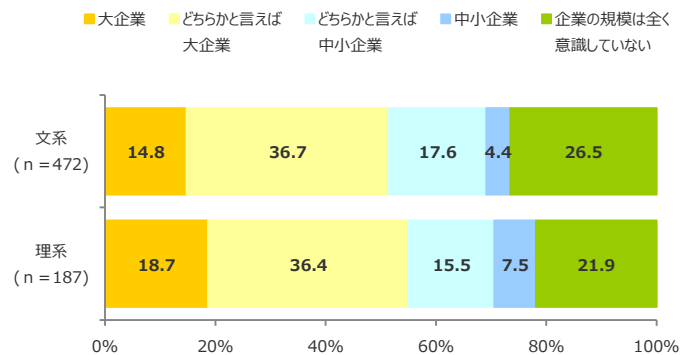
【図2.1】企業規模に対する志向



【図2.2】企業規模に対する志向：男女別



【図2.3】企業規模に対する志向：文理別

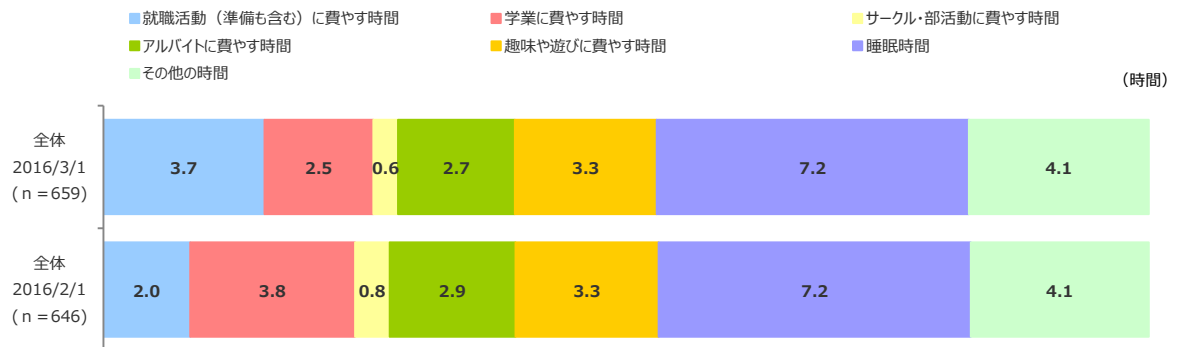


1日の活動時間

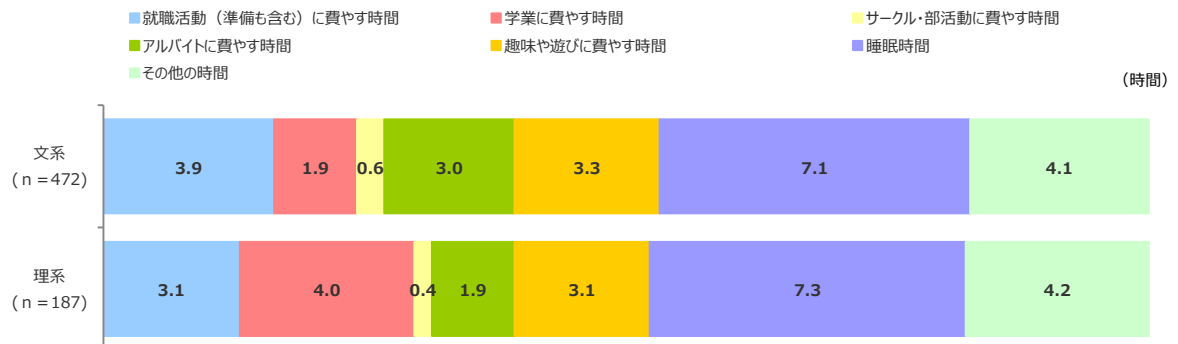
学生に、現在1日のうち「就職活動」「学業」「サークル・部活動」「アルバイト」「趣味や遊び」「睡眠」にどのくらいの時間を費やしているかを聞き、平均化した。結果は、「就職活動」3.7時間、「学業」2.5時間、「サークル・部活動」0.6時間、「アルバイト」2.7時間、「趣味や遊び」3.3時間、「睡眠」7.2時間となった。前回調査と比較すると、「就職活動」に費やす時間が1.7時間多くなり、「学業」に費やす時間が1.3時間短くなっている（図3.1）。

文理別に見ると、理系は「学業」に費やす時間が4.0時間と突出して高く、文系の1.9時間より2.1時間多い。一方、文系は「アルバイト」に費やす時間が3.0時間と、理系に比べ1.1時間多い。「サークル・部活動」に費やす時間、「就職活動」に費やす時間は、文系の方がやや多い傾向となっている（図3.2）。

【図3.1】1日の活動時間／平均



【図3.2】1日の活動時間／平均：文理別

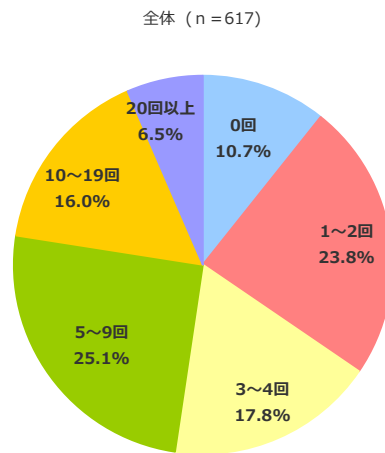


会社説明会参加回数

「1 就職活動の進捗状況」において、「まだ何も始めていない」以外の回答をした学生に対し、3月1日までに参加した会社説明会の回数の合計を聞いた。結果は、「5～9回」と回答した学生が最も多く、25.1%に上る。続いて「1～2回」が23.8%、「3～4回」が17.8%と続いている（図4）。

文理別では理系の学生が、企業規模に対する志向別では大企業志向以外の学生が、「0社」と回答する割合が高くなっている（表4）。

【図4】会社説明会参加回数／回答分布



【表4】会社説明会参加回数：属性別

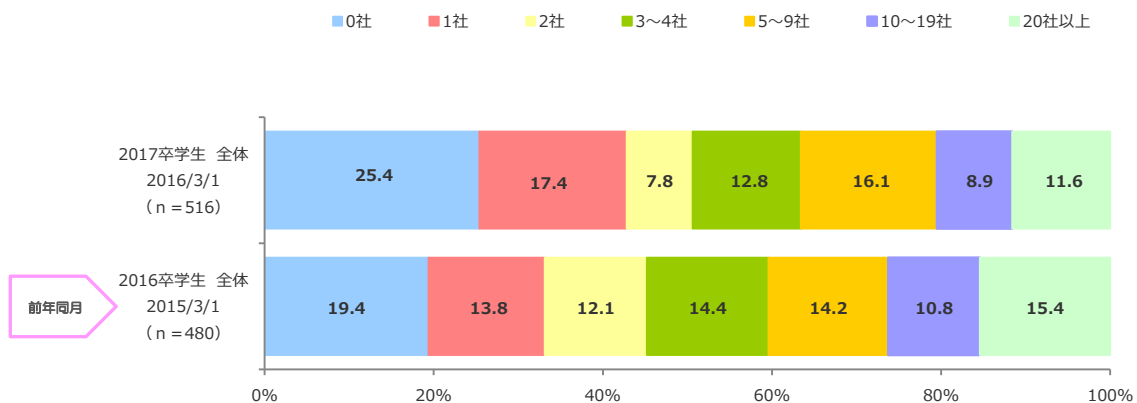
		0回	1～2回	3～4回	5～9回	10～19回	20回以上	平均(回)
全体 (n=617)		10.7	23.8	17.8	25.1	16.0	6.5	6.3
男女別	男性 (n=284)	10.6	22.5	20.1	26.1	15.1	5.6	6.1
	女性 (n=333)	10.8	24.9	15.9	24.3	16.8	7.2	6.5
文理別	文系 (n=447)	8.1	22.6	16.8	24.8	19.9	7.8	7.2
	理系 (n=170)	17.6	27.1	20.6	25.9	5.9	2.9	4.0
企業規模に対する志向別	大企業志向 (n=332)	5.7	21.7	19.0	26.8	18.7	8.1	7.2
	中小企業志向 (n=142)	15.5	26.8	19.0	26.1	9.9	2.8	4.6
	企業の規模は全く意識していない (n=143)	17.5	25.9	14.0	20.3	16.1	6.3	5.8

応募企業数

「1 就職活動の進捗状況」において、就職活動が「エントリー活動段階」以降に進んでいる学生に対し、3月1日までに選考に応募した企業数を聞いた。結果は、「0社」と回答した学生が最も多く、25.4%となった。前年同月調査と比較すると、「0社」「1社」の割合が高く、また平均社数も前年同月調査と比べて1社ほど減少している。前年より、選考に応募した企業数は少ない傾向が見られる（図5、表5）。

文理別では理系の学生が、企業規模に対する志向別では中小企業志向の学生が、「0社」と回答する割合が高くなっている（表5）。

【図5】選考に応募した企業数／回答分布



【表5】選考に応募した企業数：属性別

		0社	1社	2社	3 ~ 4社	5 ~ 9社	10 ~ 19社	20社以上	平均 (社)
前年同月	2017卒学生 全体 2016/3/1 (n=516)	25.4	17.4	7.8	12.8	16.1	8.9	11.6	7.2
	2016卒学生 全体 2015/3/1 (n=480)	19.4	13.8	12.1	14.4	14.2	10.8	15.4	8.1
男女別	男性 (n=230)	25.7	17.0	7.0	11.7	19.1	11.3	8.3	6.0
	女性 (n=286)	25.2	17.8	8.4	13.6	13.6	7.0	14.3	8.2
文理別	文系 (n=383)	22.2	19.6	7.6	14.4	14.9	8.6	12.8	7.6
	理系 (n=133)	34.6	11.3	8.3	8.3	19.5	9.8	8.3	6.3
企業規模に対する志向別	大企業志向 (n=294)	22.1	18.7	7.5	13.9	14.3	9.9	13.6	8.4
	中小企業志向 (n=118)	30.5	15.3	8.5	12.7	17.8	5.1	10.2	5.6
	企業の規模は全く意識していない (n=104)	28.8	16.3	7.7	9.6	19.2	10.6	7.7	5.8

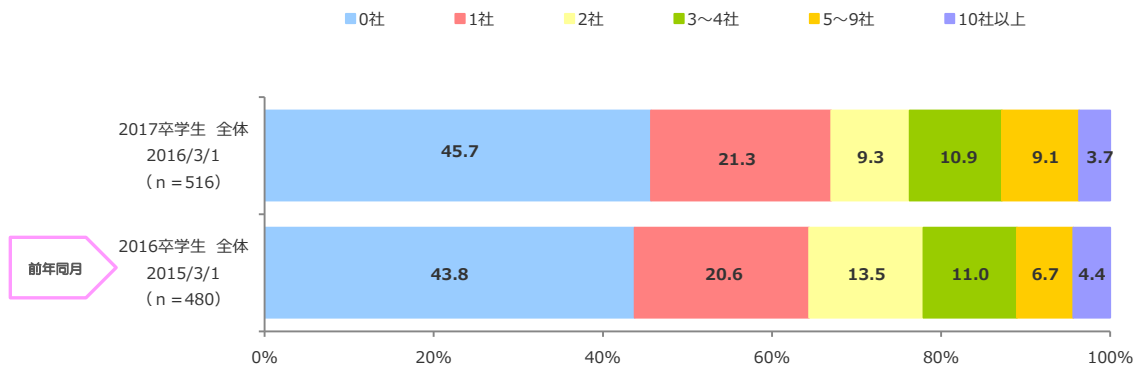
6

エントリーシート・履歴書提出企業数

「1 就職活動の進捗状況」において、就職活動が「エントリー活動段階」以降に進んでいる学生に対し、3月1日までにエントリーシートや履歴書を提出した企業数を聞いた。結果は、「0社」と回答した学生が最も多く45.7%。次いで「1社」と回答した学生が21.3%となった。前年同月調査と比較すると、「0社」「1社」と回答する学生がやや多い半面、「5～9社」と回答する学生も若干増加している（図6）。ただし、平均社数は前年同月調査と同値であり、全体的に見れば昨年と同程度の進捗感のようだ（表6）。

平均社数を見ると、文理別では文系の学生が、企業規模に対する志向別では中小企業志向以外の学生が、それぞれ提出企業数が多くなる傾向にある（表6）。

【図6】エントリーシート・履歴書提出企業数／回答分布



【表6】エントリーシート・履歴書提出企業数：属性別

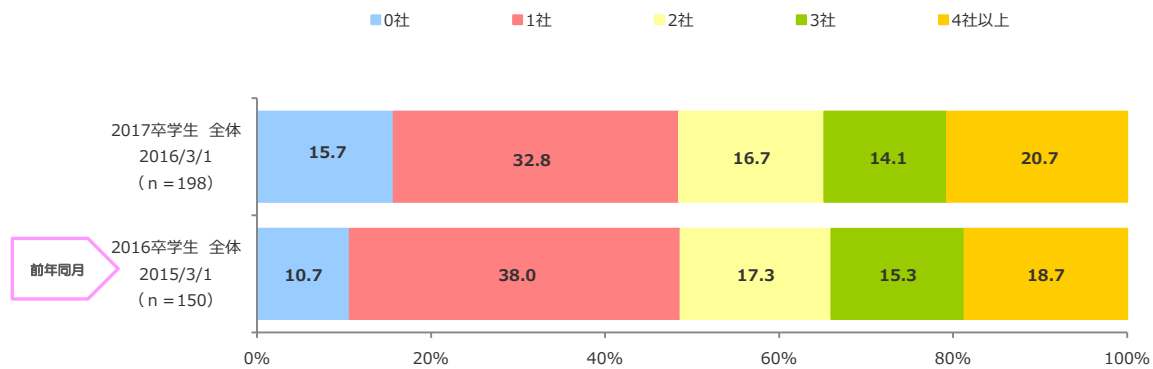
		0社	1社	2社	3 ～ 4社	5 ～ 9社	10社以上	平均(社)
前年同月	2017卒学生 全体 2016/3/1 (n=516)	45.7	21.3	9.3	10.9	9.1	3.7	1.9
	2016卒学生 全体 2015/3/1 (n=480)	43.8	20.6	13.5	11.0	6.7	4.4	1.9
男女別	男性 (n=230)	41.3	21.3	8.3	11.7	11.7	5.7	2.3
	女性 (n=286)	49.3	21.3	10.1	10.1	7.0	2.1	1.5
文理別	文系 (n=383)	42.3	24.5	9.4	10.7	9.4	3.7	1.9
	理系 (n=133)	55.6	12.0	9.0	11.3	8.3	3.8	1.6
企業規模に対する志向別	大企業志向 (n=294)	40.1	23.5	10.9	12.2	9.5	3.7	2.0
	中小企業志向 (n=118)	54.2	20.3	6.8	10.2	7.6	0.8	1.1
	企業の規模は全く意識していない (n=104)	51.9	16.3	7.7	7.7	9.6	6.7	2.2

面接選考企業数

「1 就職活動の進捗状況」において、就職活動が「面接・試験段階」以降に進んでいる学生に対し、3月1日まで面接の選考（グループワークやグループディスカッションも含む）を受けた企業数を聞いた。結果は、「1社」と回答した学生が最も多く32.8%だった。前年同月調査と比較すると「0社」の割合が5.0ポイント増加し、面接の選考まで到達していない学生が増加している。一方、「4社以上」と回答している学生も若干増加している（図7）。ただし、平均社数は前年同月調査とほぼ変わっていないことから、全体的な活動量は昨年並みのようだ（表7）。

男女別では、男性の方が女性よりも面接選考に進んだ企業数が多い傾向が見られる（表7）。

【図7】面接選考企業数／回答分布



【表7】面接選考企業数：属性別

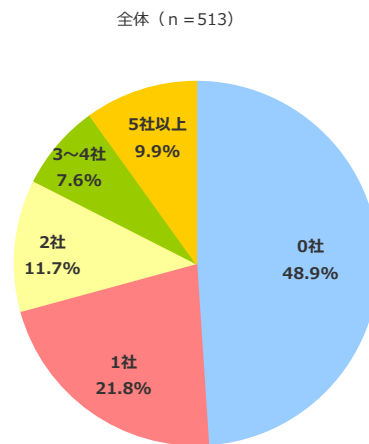
		0社	1社	2社	3社	4社以上	平均(社)
		n=30以上で ■ 全体+10pt以上 ■ 全体+5pt以上 ■ 全体-5pt以下 ■ 全体-10pt以下					
2017卒学生 全体 2016/3/1 (n = 198)		15.7	32.8	16.7	14.1	20.7	2.5
前年同月 2016卒学生 全体 2015/3/1 (n = 150)		10.7	38.0	17.3	15.3	18.7	2.6
男女別	男性 (n = 96)	14.6	28.1	14.6	17.7	25.0	3.1
	女性 (n = 102)	16.7	37.3	18.6	10.8	16.7	2.0
文理別	文系 (n = 156)	14.7	36.5	14.7	13.5	20.5	2.4
	理系 (n = 42)	19.0	19.0	23.8	16.7	21.4	2.9

現在選考中の企業数

「1 就職活動の進捗状況」において、就職活動が「エントリー活動段階」以降に進んでおり、かつ活動を継続している学生に対し、3月1日時点で「選考中」（応募はしているが、選考途中で最終的な結果が出ていない状態）の企業数を聞いた。結果は、「0社」と回答した学生が最も多く、48.9%。さらに「1社」21.8%、「2社」11.7%と続く（図8）。

平均社数を見ると、男女別では女性が、企業規模に対する志向別では大企業志向の学生が、現在選考中の企業数が多くなっている（表8）。

【図8】現在選考中の企業数／回答分布



【表8】現在選考中の企業数：属性別

		0社	1社	2社	3~4社	5社以上	平均(社)
全体 (n=513)		48.9	21.8	11.7	7.6	9.9	2.5
男女別	男性 (n=228)	45.6	22.4	12.7	7.9	11.4	2.2
	女性 (n=285)	51.6	21.4	10.9	7.4	8.8	2.7
文理別	文系 (n=382)	46.6	24.9	10.7	8.4	9.4	2.4
	理系 (n=131)	55.7	13.0	14.5	5.3	11.5	2.8
企業規模に対する志向別	大企業志向 (n=293)	44.0	24.6	13.3	6.5	11.6	3.1
	中小企業志向 (n=118)	60.2	17.8	5.1	11.0	5.9	1.5
	企業の規模は全く意識していない (n=102)	50.0	18.6	14.7	6.9	9.8	1.9

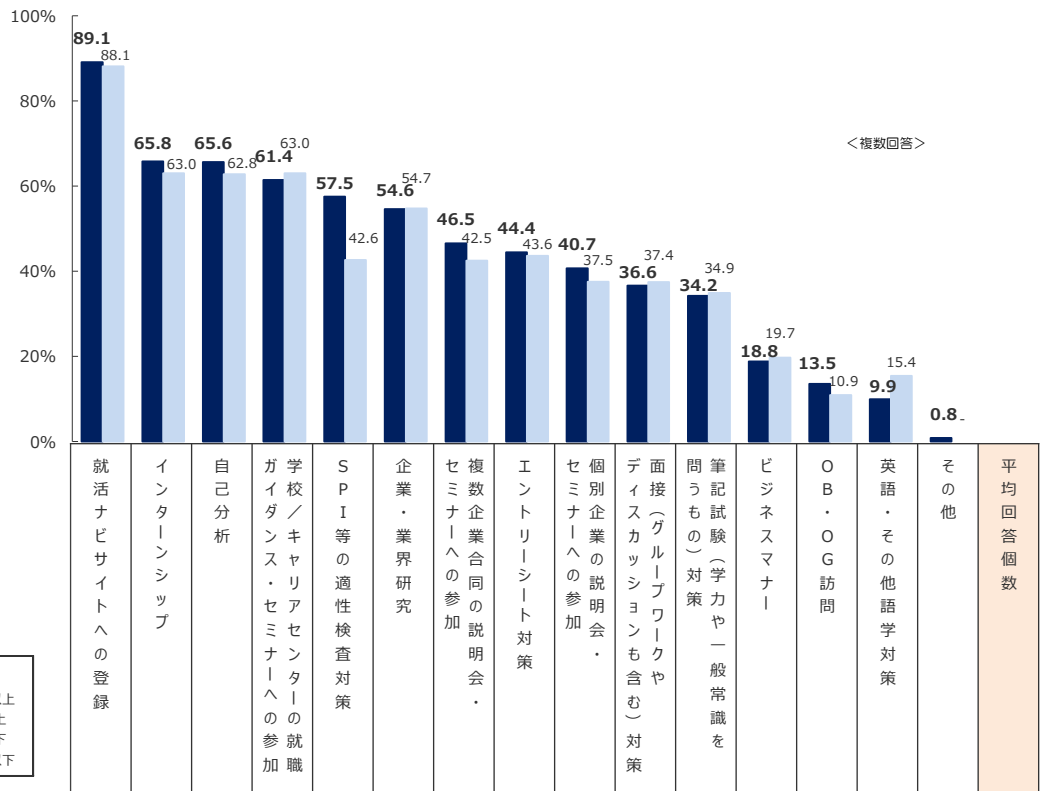
就職活動の準備・対策

「1 就職活動の進捗状況」において、「まだ何も始めていない」以外の回答をした学生に対し、3月1日までに行った就職活動の準備・対策を聞いた。就職活動の準備・対策として行ったものは、多かった順に「就活ナビサイトへの登録」89.1%、「インターンシップ」65.8%、「自己分析」65.6%、「学校／キャリアセンターの就職ガイダンス・セミナーへの参加」61.4%、「SPI等の適性検査対策」57.5%となっている。

前年同月調査と比較すると、「SPI等の適性検査対策」が14.9ポイント増加していることが目立つ。

平均回答個数を見ると、男女別では女性が、企業規模に対する志向別では大企業志向の学生が、文理別では文系の数値が高くなっており、より多くの取り組みを行なっている様子がうかがえる（図9）。

【図9】就職活動の準備・対策で行なったもの



		2016/3/1 (n=617)	89.1	65.8	65.6	61.4	57.5	54.6	46.5	44.4	40.7	36.6	34.2	18.8	13.5	9.9	0.8	6.4
全体		2016/3/1 (n=617)	89.1	65.8	65.6	61.4	57.5	54.6	46.5	44.4	40.7	36.6	34.2	18.8	13.5	9.9	0.8	6.4
前年同月		2015/3/1 (n=605)	88.1	63.0	62.8	63.0	42.6	54.7	42.5	43.6	37.5	37.4	34.9	19.7	10.9	15.4	-	6.2
男女別	男性 (n=284)		85.6	64.8	64.1	53.5	51.4	47.9	39.8	39.4	38.0	33.1	31.3	13.7	12.3	7.7	0.7	5.8
	女性 (n=333)		92.2	66.7	67.0	68.2	62.8	60.4	52.3	48.6	42.9	39.6	36.6	23.1	14.4	11.7	0.9	6.9
文理別	文系 (n=447)		90.6	68.0	65.5	63.1	60.9	55.5	50.3	44.3	44.5	38.9	36.0	21.3	12.8	10.5	0.9	6.6
	理系 (n=170)		85.3	60.0	65.9	57.1	48.8	52.4	36.5	44.7	30.6	30.6	29.4	12.4	15.3	8.2	0.6	5.8
企業規模に対する志向別	大企業志向 (n=332)		91.3	69.6	66.0	60.5	57.8	56.6	50.0	47.0	45.5	37.3	36.7	19.0	18.1	11.7	0.3	6.7
	中小企業志向 (n=142)		88.7	65.5	64.1	59.9	62.7	57.0	42.3	43.0	33.8	38.7	35.2	20.4	9.2	5.6	1.4	6.3
	企業の規模は全く意識していない (n=143)		84.6	57.3	66.4	65.0	51.7	47.6	42.7	39.9	36.4	32.9	27.3	16.8	7.0	9.8	1.4	5.9

就職活動の準備・対策を開始した時期

「 9 就職活動の準備・対策」において回答した項目について、いつ頃から準備・対策を始めたかを聞いた。「就活ナビサイトへの登録」は、「6月」から始めた学生が最も多い。「インターンシップ」は、「8月」「2月」が多い。「学校／キャリアセンターの就職ガイダンス・セミナーへの参加」は「4月」「10月」「12月」が比較的多い。その他の準備・対策は、「12月」「1月」「2月」頃に開始しているものが多い（表10）。

【表10】就職活動の準備・対策を開始した時期

	n=	2015年										2016年		
		3月以前	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
就活ナビサイトへの登録	550	7.3	6.7	8.4	30.9	5.8	5.5	4.9	8.4	5.5	7.8	4.7	3.3	0.9
インターンシップ	406	6.9	0.5	1.5	7.6	7.9	31.5	8.9	4.4	4.4	6.9	6.4	12.8	0.2
自己分析	405	6.4	1.7	1.5	5.4	2.2	6.4	3.5	12.6	12.8	16.0	16.5	13.8	1.0
学校／キャリアセンターの就職ガイダンス・セミナーへの参加	379	7.7	10.8	6.3	9.8	3.7	2.4	5.3	12.1	9.2	12.9	8.7	8.7	2.4
SPI等の適性検査対策	355	4.8	0.8	2.5	5.9	5.9	5.6	5.4	12.1	10.7	15.2	15.8	13.8	1.4
企業・業界研究	337	3.6	1.5	1.5	6.2	0.9	5.6	5.9	10.1	10.4	19.9	17.5	16.6	0.3
複数企業合同の説明会・セミナーへの参加	287	3.8	-	1.4	8.4	1.7	3.1	2.8	7.0	11.8	18.8	17.1	16.4	7.7
エントリーシート対策	274	1.8	0.4	1.5	5.5	3.6	4.7	6.9	11.3	11.3	16.1	18.2	16.4	2.2
個別企業の説明会・セミナーへの参加	251	3.2	0.8	1.6	2.4	0.4	5.2	4.4	8.8	12.0	18.7	17.9	21.1	3.6
面接（グループワークやグループディスカッションも含む）対策	226	3.1	-	1.8	1.8	3.1	3.5	4.9	9.7	10.2	16.8	24.3	19.9	0.9
筆記試験（学力や一般常識を問うもの）対策	211	4.3	0.9	1.4	5.7	5.7	7.1	6.2	10.4	13.3	14.7	15.2	13.3	1.9
ビジネスマナー	116	8.6	1.7	2.6	9.5	6.0	5.2	5.2	12.1	8.6	18.1	12.9	8.6	0.9
OB・OG訪問	83	4.8	1.2	1.2	6.0	1.2	3.6	4.8	1.2	7.2	22.9	15.7	28.9	1.2
英語・その他語学対策	61	37.7	1.6	1.6	1.6	1.6	4.9	8.2	11.5	6.6	11.5	4.9	8.2	-

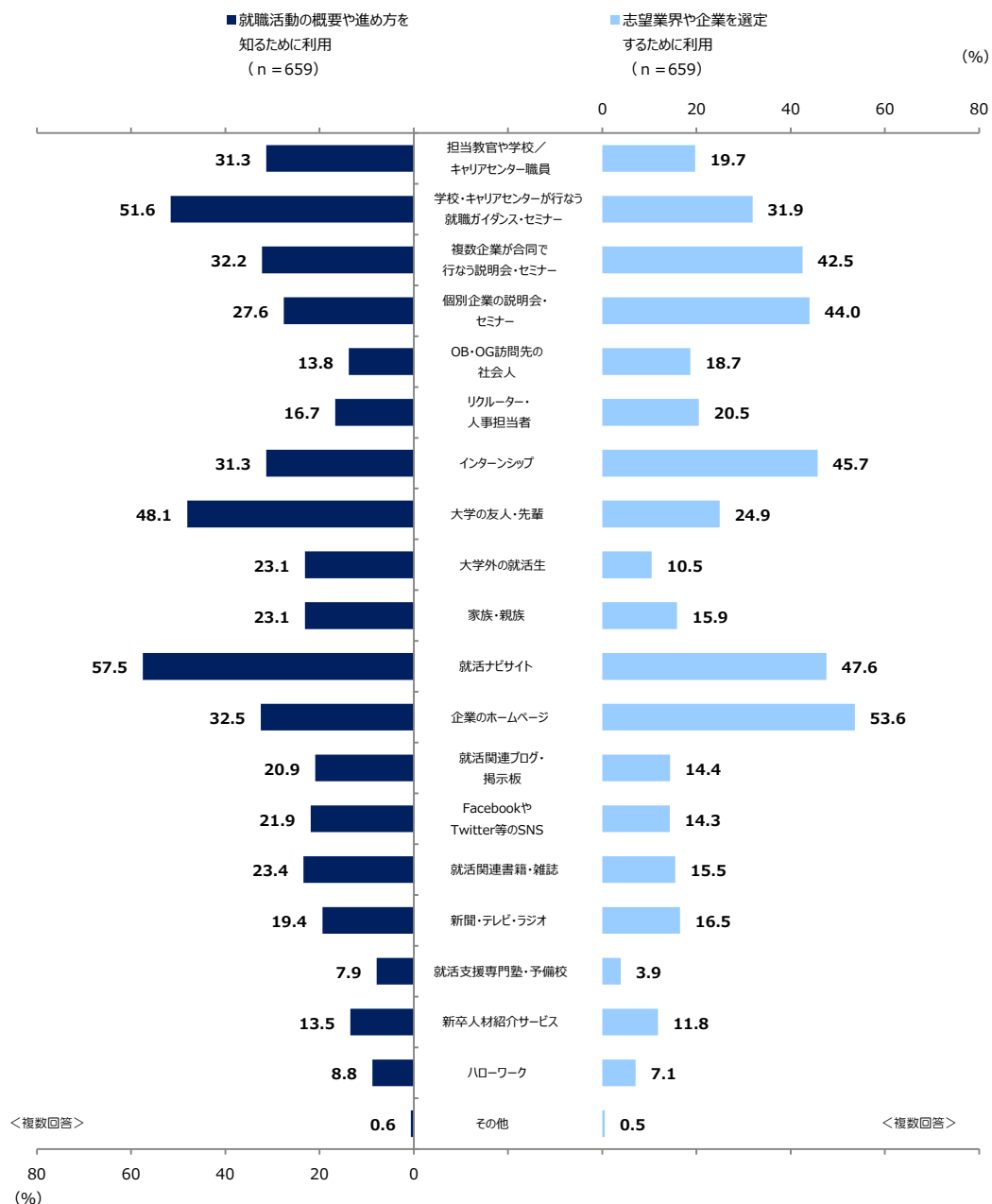
(%)

利用する情報媒体

学生に、“就職活動の概要や進め方を知るため”に利用した（しようと思っている）情報媒体を聞いた。最も多かったのは「就活ナビサイト」で、57.5%の学生が挙げている。次いで、「学校・キャリアセンターが行なう就職ガイダンス・セミナー」が51.6%、「大学の友人・先輩」が48.1%となっている。

また、学生に“志望業界や企業を選定するため”に利用した（しようと思っている）情報媒体を聞いた。多くの回答を集めたのは、「企業のホームページ」が53.6%で半数を超えている。次いで「就活ナビサイト」47.6%、「インターンシップ」45.7%、「個別企業の説明会・セミナー」44.0%、「複数企業が合同で行なう説明会・セミナー」が42.5%と4割を超えている（図11）。

【図11】利用する情報媒体



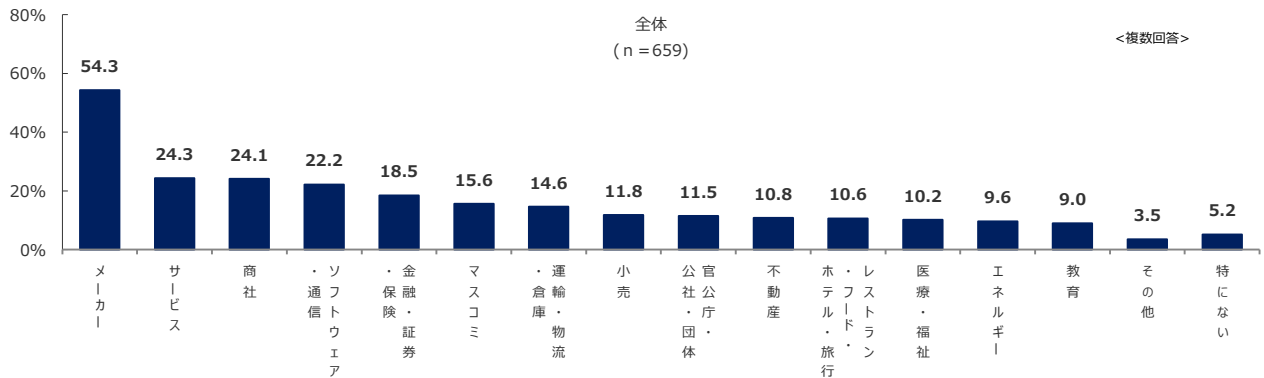
志望業界

学生に、志望業界について聞くと、回答が多かった順に「メーカー」54.3%、「サービス」24.3%、「商社」24.1%、「ソフトウェア・通信」22.2%となった（図12.1）。

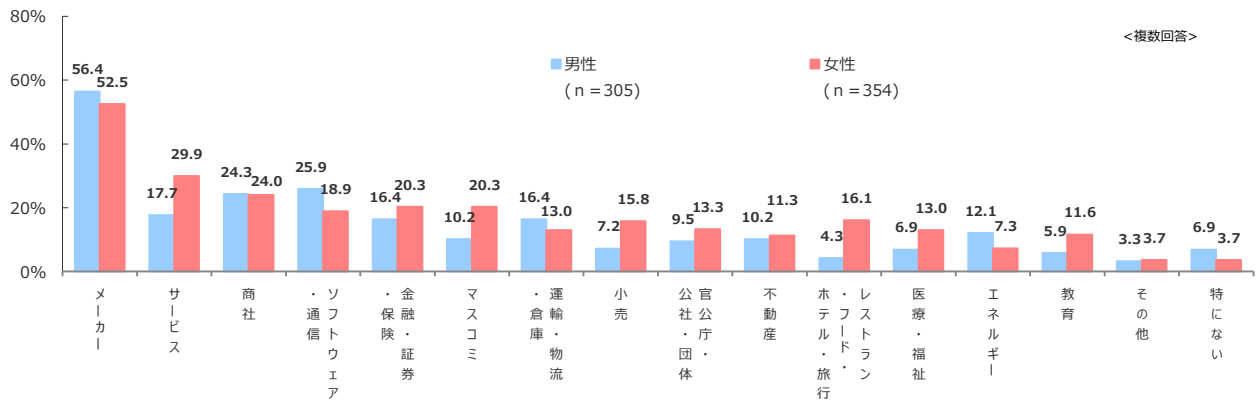
男性では、回答が多い順に「メーカー」「ソフトウェア・通信」「商社」、女性では「メーカー」「サービス」「商社」となっている（図12.2）。

文理別に見ると、理系は「メーカー」の志望者が突出して多く、69.0%に上る。以降は「ソフトウェア・通信」「医療・福祉」となっている。文系も、理系ほど志望者の割合は高くないが、最多は「メーカー」となり、「サービス」「商社」が同率となっている（図12.3）。

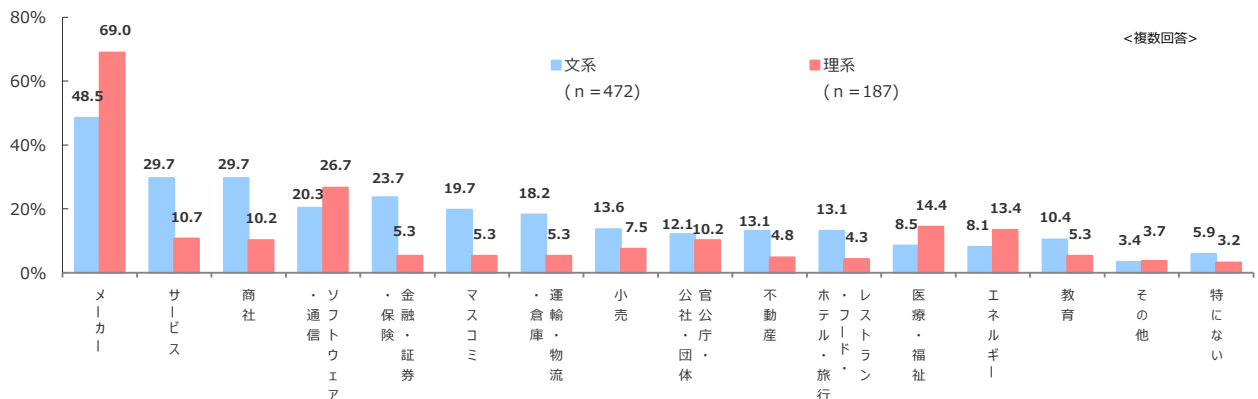
【図12.1】 志望している業界はどこか



【図12.2】 志望している業界はどこか：男女別



【図12.3】 志望している業界はどこか：文理別



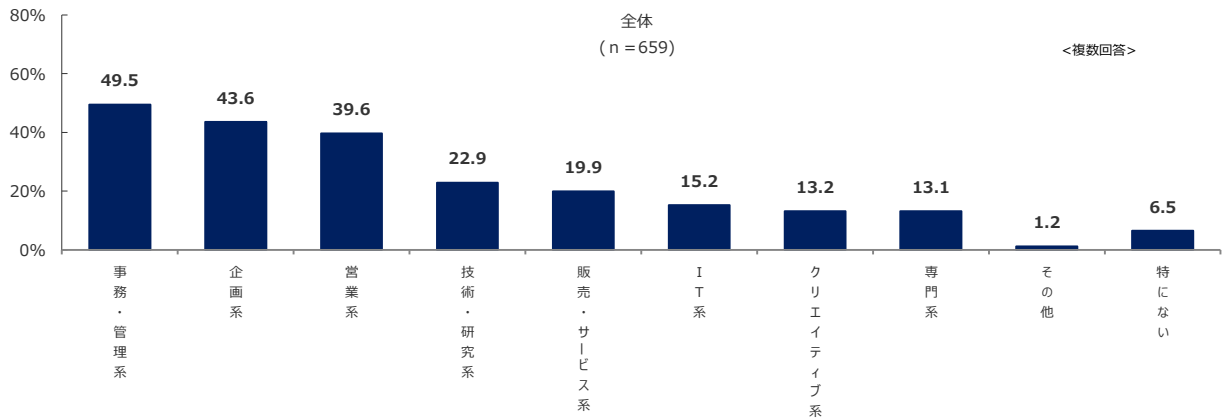
志望職種

学生に、志望職種について聞くと、「事務・管理系」が49.5%と最も多く、続いて「企画系」が43.6%、「営業系」39.6%、「技術・研究系」22.9%の順となった（図13.1）。

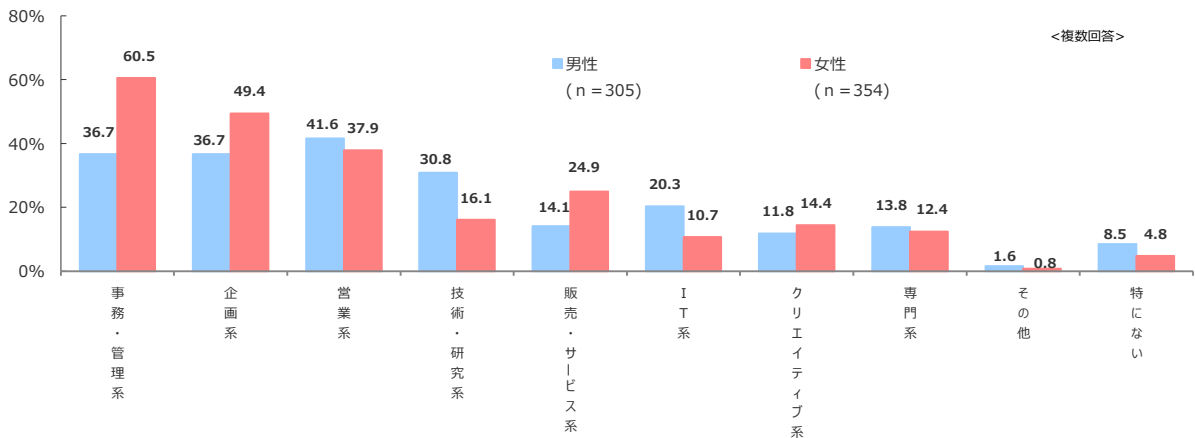
男女別に見ると、男性は「営業系」が最も多く、「企画系」と「事務・管理系」が同率、女性は「事務・管理系」「企画系」「営業系」の順となっている（図13.2）。

文理別に見ると、文系は、「事務・管理系」「企画系」「営業系」の志望者が多く、理系は「技術・研究系」の志望者が突出している（図13.3）。

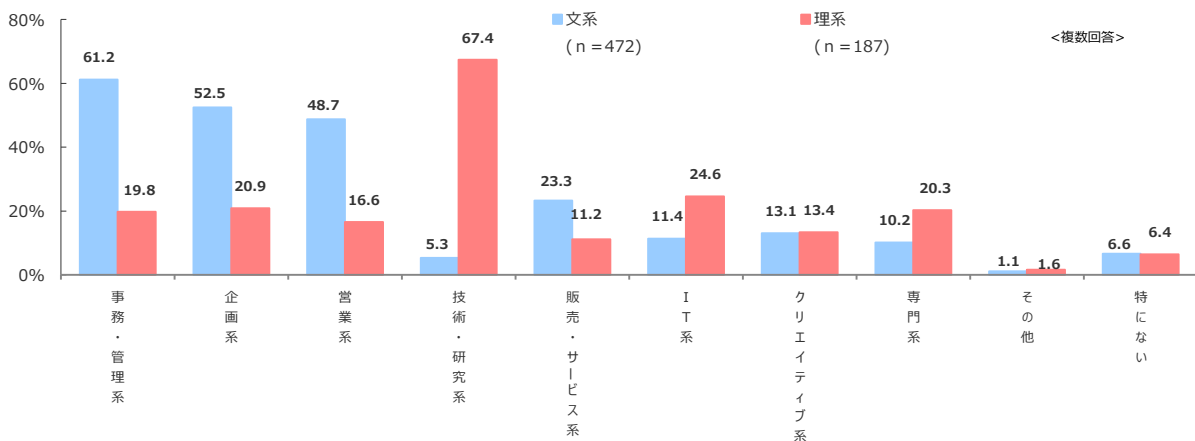
【図13.1】 志望している職種は何か



【図13.2】 志望している職種は何か：男女別



【図13.3】 志望している職種は何か：文理別



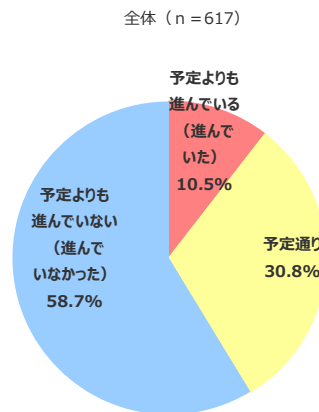
就職活動の進捗感

「1 就職活動の進捗状況」において、「まだ何も始めていない」以外の回答をした学生に、3月1日までに行なってきた就職活動やその準備・対策を振り返り、どのように感じているか（就職活動を終了している学生は、終了時期が予定に比べてどうだったか）を聞いた。「予定よりも進んでいない（進んでいなかった）」が最も多く58.7%、「予定通り」30.8%、「予定よりも進んでいる（進んでいた）」10.5%の順となった（図14.1）。

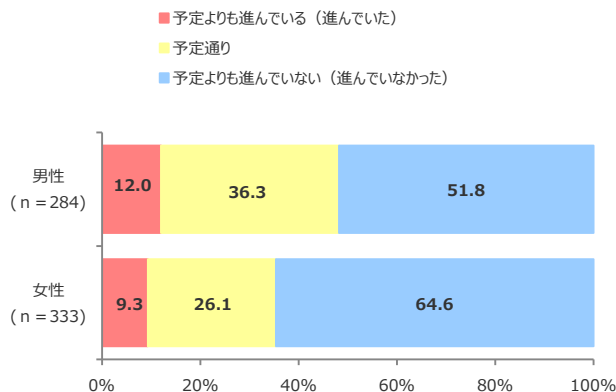
男女別で見ると、女性の方が「予定よりも進んでいない」と回答する学生の割合が大幅に高い（図14.2）。

企業規模に対する志向別に見ると、中小企業志向の学生は「予定よりも進んでいない」と回答する割合が他の学生よりも大幅に高くなっている（図14.3）。

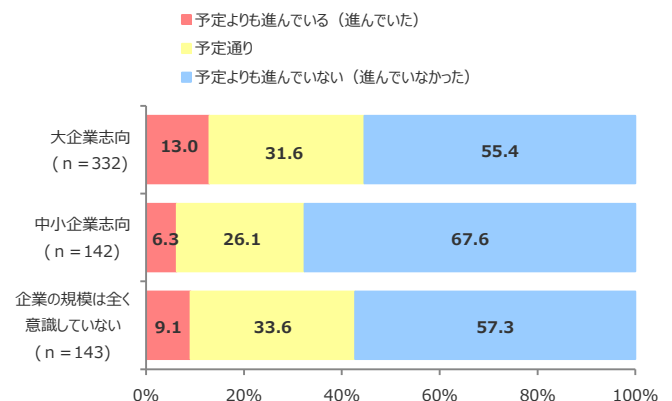
【図14.1】現在までに行なってきた就職活動その準備・対策を振り返り、どのように感じているか



【図14.2】現在までに行なってきた就職活動その準備・対策を振り返り、どのように感じているか：男女別



【図14.3】現在までに行なってきた就職活動その準備・対策を振り返り、どのように感じているか：企業規模に対する志向別

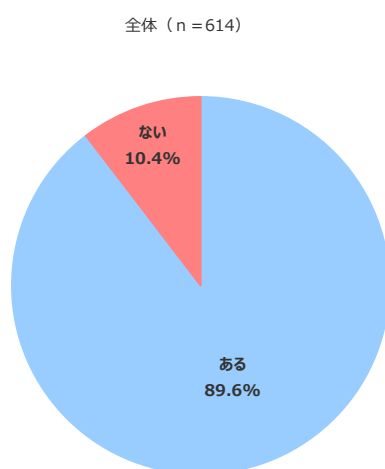


企業への新たな応募予定（3月）

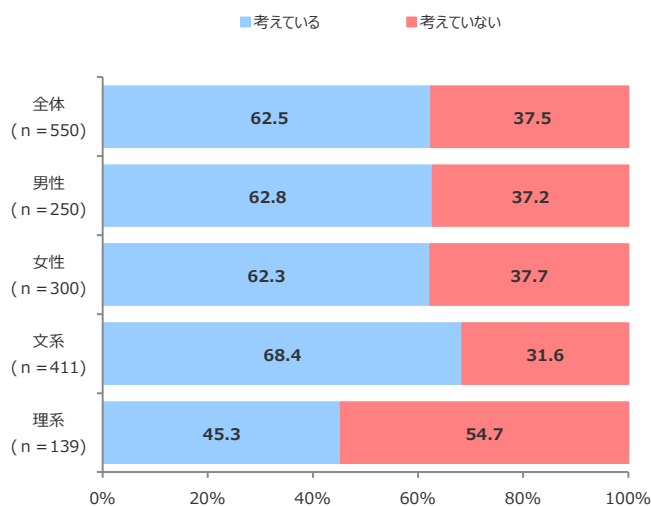
就職活動中の学生に、3月の就職活動において新たに企業に応募する予定があるかを聞いたところ、「ある」と回答した学生が89.6%となった（図15.1）。

また、新たに応募すると回答した学生に対し、今まで“興味がなかった業界”や“興味がなかった職種”にも応募しようと考えているかを聞いた。「（応募しよう）と考えている」と回答した学生の割合は、“業界”では62.5%、“職種”では51.6%となった。新たな企業に目を向ける際には、“職種”よりも、“業界”の視野を広げる学生の方が多いようだ（図15.2、図15.3）。

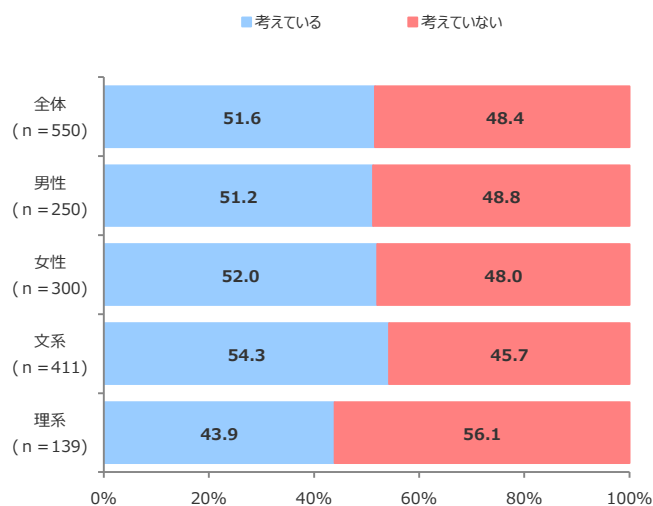
【図15.1】 今月、新たに企業に応募する予定はあるか



【図15.2】 今まで“興味がなかった業界”にも応募しようと考えているか



【図15.3】 今まで“興味がなかった職種”にも応募しようと考えているか



3月の説明会参加予定

「1 就職活動の進捗状況」において、「内定獲得／就活終了段階」以外の回答をした学生に、“合同企業説明会（就活関連会社等や学校主催のもの）”や“各企業の会社説明会”に何回参加する予定かを、3月の週ごとに聞いた。

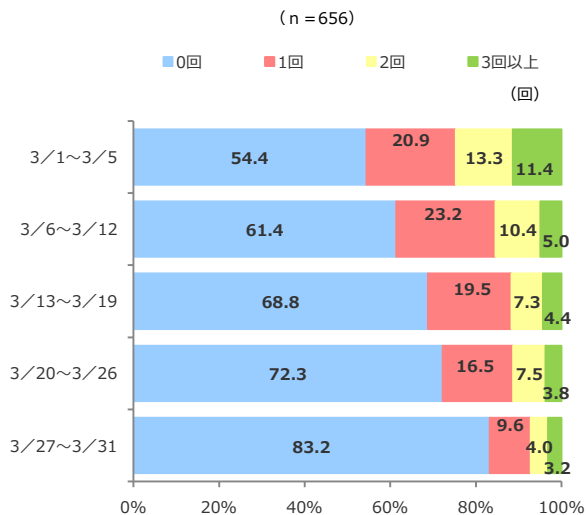
“就活関連会社やイベント会社主催の合同企業説明会等”への参加予定は、3/1～3/5が最も多く、後半になるにつれ参加回数が減少する傾向にある（図16.1）。

“学校主催の合同企業説明会等”については、3/1～3/5がやや少ないものの、3/6～3/12より参加回数が増加、後半になるにつれ回数が減少する傾向が見られる（図16.2）。

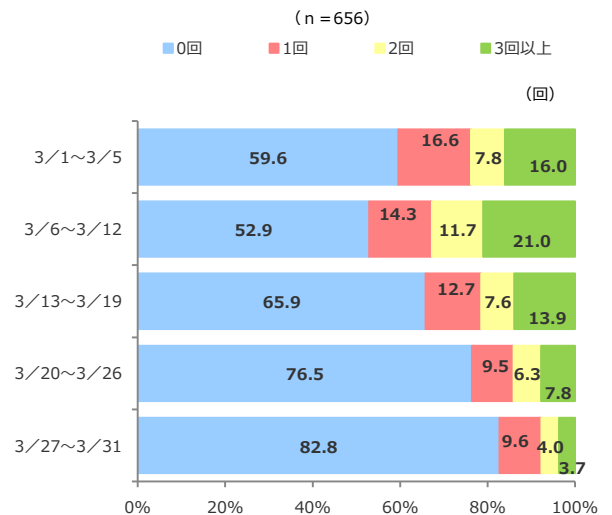
“各企業の会社説明会・セミナー”への参加予定で最も多い時期は、3/13～3/19、3/6～3/12、3/20～3/26となり、月の中ごろに集中している（図16.3）。

広報活動解禁直後の3月前半には、合同企業説明会で多くの企業情報を入手し、その後は個別企業の説明会へと活動の軸足を移す学生が多いようだ。

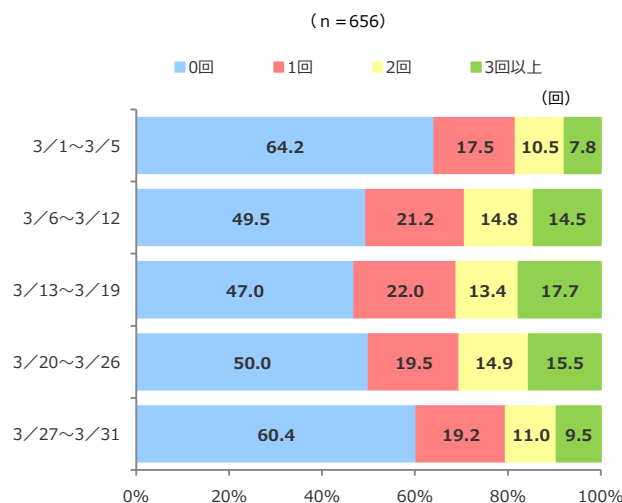
【図16.1】 就活関連会社やイベント会社主催の合同企業説明会等に何回参加する予定か



【図16.2】 学校主催の合同企業説明会等に何回参加する予定か



【図16.3】 各企業の会社説明会・セミナーに何回参加する予定か



志望業界を志望している理由

学生に、現在の「志望業界」を志望している理由は何かを聞いた。最も回答が多くなったのは「その業界の商品やサービスが好きだから」で53.9%、次いで「自分が勉強している内容を活かそうだから」が39.8%、「社会貢献ができそうだから」37.0%となった。

男女別に見ると、「ワーク・ライフ・バランスが実現できそうだから」は、男性より女性が高い。逆に「社会的ステータスが高そうだから」は、女性よりも男性が高くなっている。

文理別に見ると、理系では「自分が勉強している内容を活かそうだから」が65.7%と、突出して高い。

企業規模に対する志向別に見ると、大企業志向の学生は「その業界の商品やサービスが好きだから」「給与面などの待遇がよさそうだから」「社会的ステータスが高そうだから」と回答する割合が、他の学生よりも高い（表17）。

【表17】現在の志望業界を志望している理由は何か

<複数回答>

		その業界の商品やサービスが好きだから	自分が勉強している内容を活かそうだから	社会貢献ができそうだから	安定しているそうだから	ワーク・ライフ・バランスが実現できそうだから	給与面などの待遇がよさそうだから	身近に感じるから	社会的ステータスが高そうだから	その他
全体 (n=625)		53.9	39.8	37.0	30.9	25.6	22.1	20.6	14.1	2.1
男女別	男性 (n=284)	51.4	42.6	32.7	27.8	20.1	24.3	18.0	20.1	3.5
	女性 (n=341)	56.0	37.5	40.5	33.4	30.2	20.2	22.9	9.1	0.9
文理別	文系 (n=444)	56.5	29.3	39.2	32.4	28.4	21.6	21.2	14.6	2.7
	理系 (n=181)	47.5	65.7	31.5	27.1	18.8	23.2	19.3	12.7	0.6
志向別 企業規模に	大企業志向 (n=343)	58.9	37.9	40.8	33.8	24.8	27.7	20.4	19.5	1.7
	中小企業志向 (n=141)	44.0	43.3	24.1	31.2	30.5	17.7	22.0	6.4	2.1
	企業の規模は全く意識していない (n=141)	51.8	41.1	40.4	23.4	22.7	12.8	19.9	8.5	2.8
志望業界別	メーカー (n=358)	59.5	41.1	36.6	33.0	27.1	25.7	23.2	14.8	1.7
	サービス (n=160)	61.9	40.0	36.3	25.0	27.5	16.9	24.4	15.6	3.1
	商社 (n=159)	62.3	31.4	38.4	38.4	27.0	30.2	20.1	22.6	3.1
	ソフトウェア・通信 (n=146)	50.7	42.5	38.4	28.8	31.5	21.2	15.1	14.4	3.4
	金融・証券・保険 (n=122)	50.0	27.0	43.4	41.8	35.2	36.1	20.5	18.0	4.9
	マスコミ (n=103)	71.8	33.0	35.0	31.1	13.6	19.4	21.4	19.4	1.9
	運輸・物流・倉庫 (n=96)	57.3	32.3	45.8	35.4	29.2	24.0	20.8	15.6	3.1
	小売 (n=78)	69.2	43.6	35.9	32.1	25.6	25.6	29.5	10.3	1.3
	官公庁・公社・団体 (n=76)	52.6	35.5	44.7	36.8	28.9	30.3	14.5	11.8	0.0
	不動産 (n=71)	63.4	33.8	43.7	33.8	29.6	28.2	21.1	15.5	7.0
	レストラン・フード・ホテル・旅行 (n=70)	71.4	54.3	44.3	27.1	27.1	22.9	35.7	10.0	0.0
	医療・福祉 (n=67)	43.3	62.7	43.3	31.3	14.9	19.4	14.9	4.5	1.5
	エネルギー (n=63)	47.6	42.9	50.8	38.1	36.5	36.5	6.3	19.0	4.8
	教育 (n=59)	57.6	47.5	49.2	27.1	40.7	15.3	18.6	11.9	1.7

志望職種を志望している理由

学生に、現在の「志望職種」を志望している理由は何かを聞いた。最も回答が多くなったのは「自分の特性を活かせそうだから」で59.3%、次いで「専門知識・技術が身につくそうだから」が33.0%、「自分が勉強している内容を活かそうだから」28.9%となった。

文理別に見ると、「自分が勉強している内容を活かそうだから」「専門知識・技術が身につくそうだから」との回答は理系が文系を大きく上回り、文理の差が特に顕著に表れている。

志望職種別に見ると、「自分が勉強している内容を活かそうだから」の回答は、文系学生の多くが志望している「事務・管理系」「企画系」「営業系」で低く、理系学生の志望度が高いと思われる「技術・研究系」「専門系」で高い傾向にある（表18）。

【表18】現在の志望職種を志望している理由は何か

<複数回答>

		活 自 か せ そ う だ か ら	身 専 門 知 識 ・ 技 術 が ら	だ 内 容 を 活 か せ そ う だ か ら	自 分 が 勉 強 し て い る	で き そ う だ か ら	社 会 貢 献 が	で き そ う だ か ら	ワ ー ク ・ ラ イ フ ・ バ ラ ン ス が 実 現	安 定 し て い そ う だ か ら	よ 給 と 面 な だ か ら の 待 遇 が	高 社 的 的 ス テ ー タ ス が	身 近 に 感 じ る か ら	そ の 他
全体 (n=616)		59.3	33.0	28.9	23.4	20.1	18.8	18.3	18.3	11.4	10.9	1.6		
男 女 別	男性 (n=279)	55.9	33.7	32.3	25.4	15.8	18.3	22.9	14.3	10.8	0.7			
	女性 (n=337)	62.0	32.3	26.1	21.7	23.7	19.3	14.5	8.9	11.0	2.4			
文 理 別	文系 (n=441)	62.4	27.2	20.2	24.5	21.8	19.3	17.0	12.7	11.3	1.6			
	理系 (n=175)	51.4	47.4	50.9	20.6	16.0	17.7	21.7	8.0	9.7	1.7			
志 望 規 模 に 別 る	大企業志向 (n=340)	61.5	29.7	28.2	26.8	18.5	18.8	22.9	13.5	11.2	0.9			
	中小企業志向 (n=140)	50.0	37.1	32.1	18.6	24.3	19.3	14.3	8.6	8.6	2.9			
	企業規模は全く 意識していない(n=136)	63.2	36.8	27.2	19.9	19.9	18.4	11.0	8.8	12.5	2.2			
志 望 職 種 別	事務・管理系 (n=326)	61.0	30.7	21.5	23.9	25.8	23.0	18.4	12.9	11.7	1.5			
	企画系 (n=287)	66.9	28.6	22.0	24.7	24.0	18.8	19.9	11.5	12.9	0.7			
	営業系 (n=261)	61.3	30.3	17.2	27.2	22.2	16.1	22.6	15.7	13.4	1.1			
	技術・研究系 (n=151)	56.3	49.7	50.3	21.2	12.6	19.9	20.5	9.9	7.9	1.3			
	販売・サービス系 (n=131)	64.9	34.4	26.0	26.7	29.0	14.5	21.4	13.0	12.2	2.3			
	IT系 (n=100)	58.0	57.0	38.0	18.0	23.0	18.0	20.0	11.0	12.0	1.0			
	クリエイティブ系 (n=87)	77.0	35.6	29.9	17.2	14.9	12.6	19.5	13.8	14.9	2.3			
	専門系 (n=86)	64.0	58.1	48.8	34.9	22.1	19.8	18.6	18.6	12.8	1.2			

企業に評価される自信があるもの

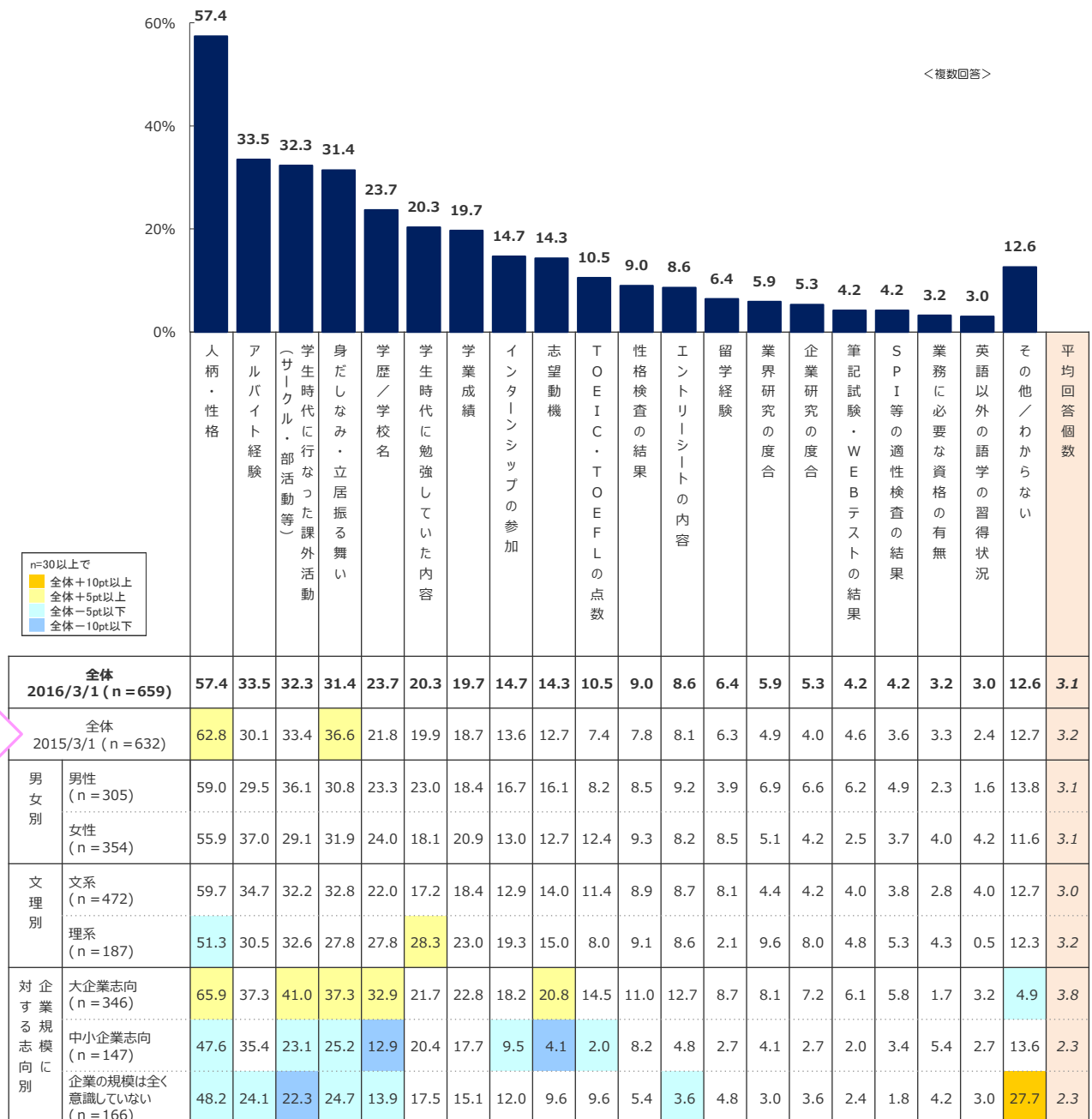
学生に、企業側に評価される自信のあるものは何か聞いた。最も回答を集めたのは「人柄・性格」で、57.4%と突出して高くなっている。

男女別に見ると、最も多い回答は男女とも「人柄・性格」で変わらないものの、次いで多い回答は、女性で「アルバイト経験」、男性で「学生時代に行なった課外活動」となっている。

文理別に見ると、理系は文系よりも「学生時代に勉強していた内容」の回答割合が高い。

企業規模に対する志向別に見ると、大企業志向の学生は他の学生に比べ、“自信がある”と回答した項目数が多くなっている(図19.1)。

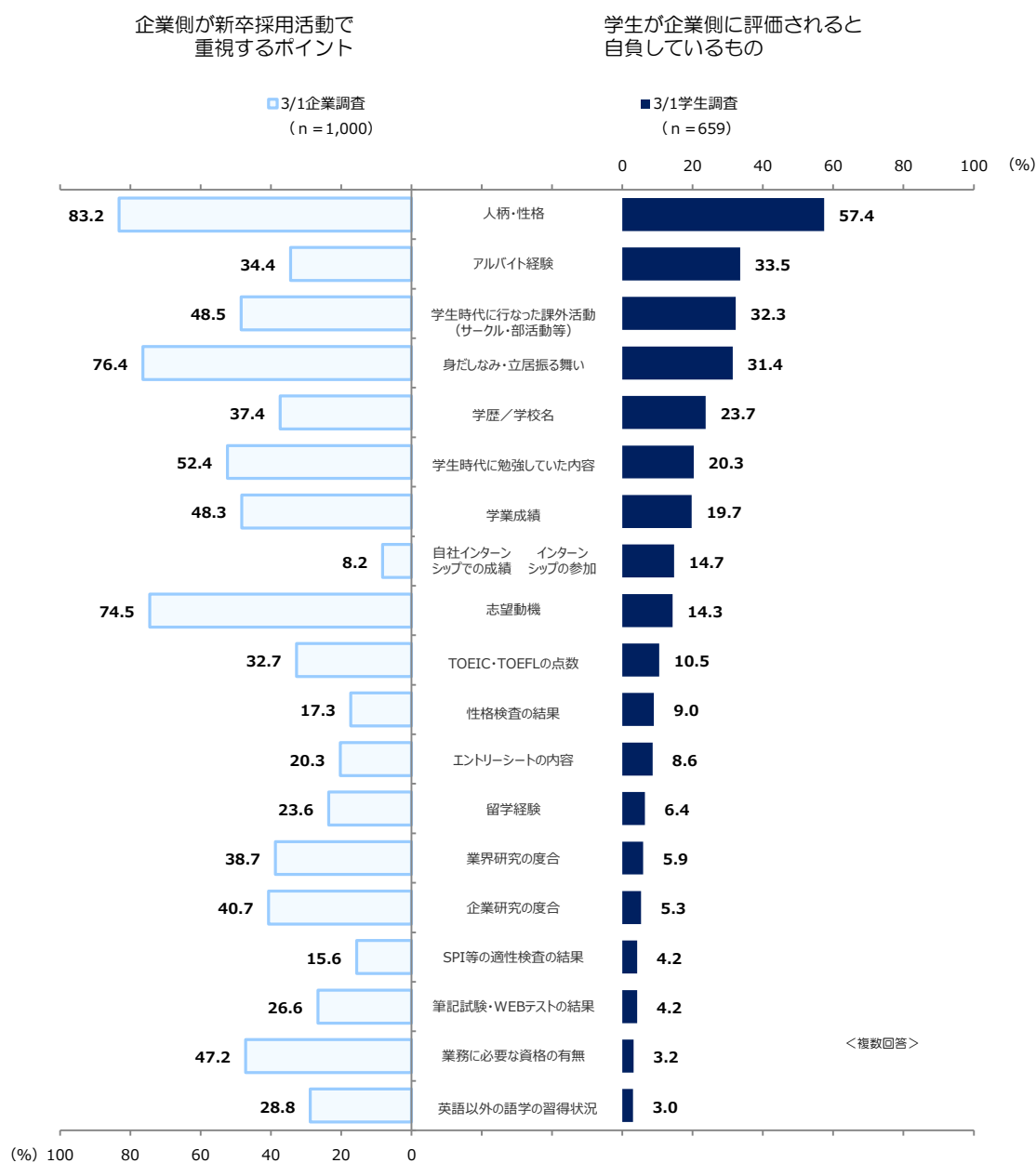
【図19.1】企業に評価される自信があるもの



また、企業の新卒採用担当者1,000人を対象に行なった「2017年度新卒採用に関する企業調査（2016年3月1日状況）」では、同様の項目について新卒採用活動で重視する割合を聞いているため、本調査の結果と比較した。

学生が企業側に評価される自信があるものとして「人柄・性格」が挙げたが、多くの企業もこれを重視している。一方、企業側が重視するものとして3番目に高かった「志望動機」については、自信を持っていると回答した学生は14.3%に留まっていた（図19.2）。

【図19.2】企業に評価される自信があるもの：企業調査比較



キャリアアンカー

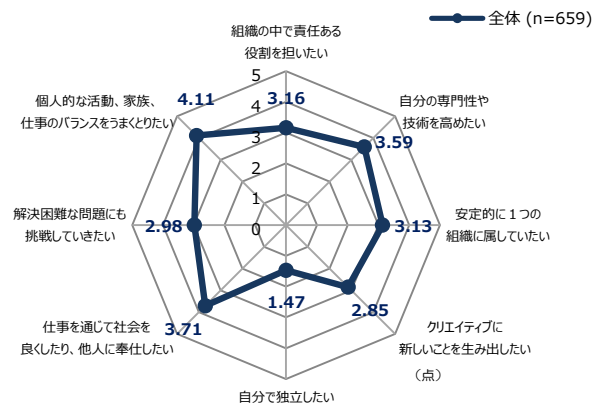
学生に、キャリアアンカー（個人が自身のキャリアを選択する際に、最も大切で他に譲ることのない価値観や欲求）について聞いた。全8項目（「管理能力」「技術的・機能的能力」「安全性」「創造性」「自律と独立」「奉仕・社会献身」「純粋な挑戦」「ワーク・ライフ・バランス」）に対し、各5点満点で合計が25点になるように点数をつけてもらい、平均化している。全体の傾向では、「個人的な活動、家族、仕事のバランスをうまくとりたい」の点数が4.11点で最も高く、「自分で独立したい」は1.47点で最低点となった（図20.1）。

男女別で見ると、女性は男性よりも「個人的な活動、家族、仕事のバランスをうまくとりたい」や「仕事を通じて社会を良くしたり、他人に奉仕したい」の点数が高い。その一方で、「組織の中で責任ある役割を担いたい」の点数は低くなっている（図20.2）。

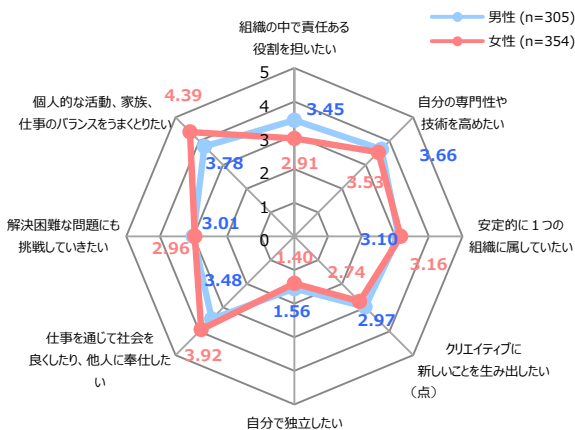
文理別で見ると、理系は文系よりも「自分の専門性や技術を高めたい」の点数が高くなっている（図20.3）。

また、企業の新卒採用担当者1,000人を対象に行なった「2017年度新卒採用に関する企業調査（2016年3月1日状況）」では、新卒採用活動において企業側がアピールポイントとしているものは何か、同様の項目・形式を用いて聞いた。本調査の結果と比較すると、学生がワーク・ライフ・バランスを最も重視している傾向があるのに対し、企業側のワーク・ライフ・バランスに関する項目の点数は最も低い。学生が求める価値観と企業側のアピールが合致していない様子が浮き彫りになっている（図20.4）。

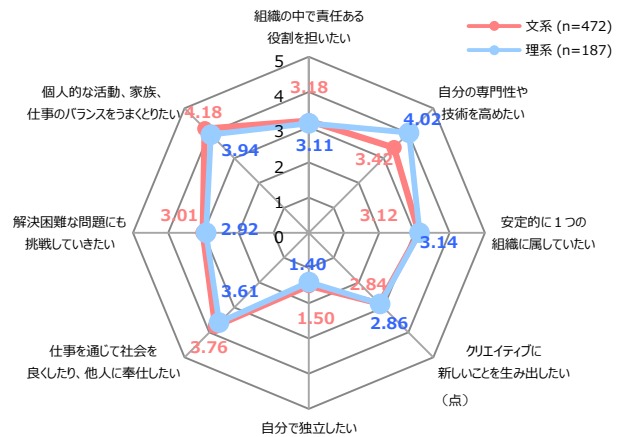
【図20.1】キャリアアンカー



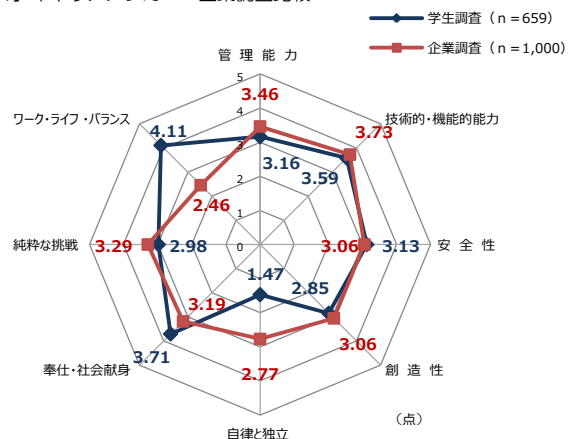
【図20.2】キャリアアンカー



【図20.3】キャリアアンカー：文理別



【図20.4】キャリアアンカー：企業調査比較



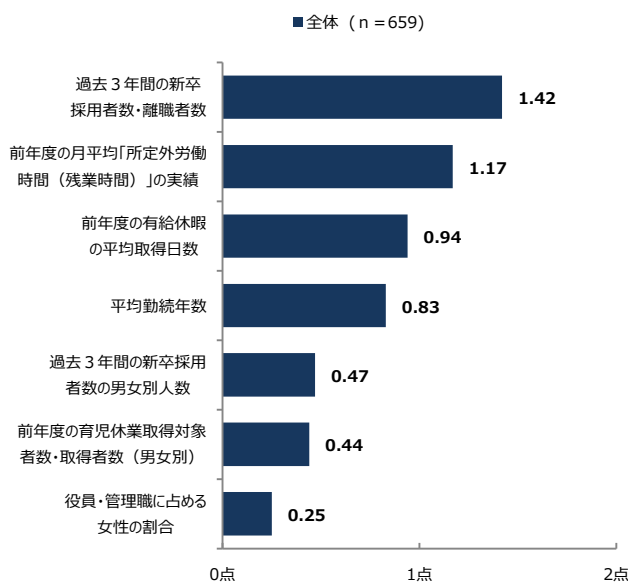
学生側への聴取項目		企業側への聴取項目
組織の中で責任ある役割を担いたい	管理能力	組織を統率し、責任ある役割を任せること
自分の専門性や技術を高めたい	技術的・機能的能力	専門性や技術を高められること
安定的に1つの組織に属していきたい	安全性	社会的・経済的に安定的なこと
クリエイティブに新しいことを生み出したい	創造性	クリエイティブに新しいことを生み出せること
自分で独立したい	自律と独立	ルールに縛られず、自律的に仕事を進められること
仕事を通じて社会を良くしたり、他人に奉仕したい	奉仕・社会献身	会社を通じて、社会貢献できること
解決困難な問題にも挑戦していきたい	純粋な挑戦	難しい課題にも挑戦できること
個人的な活動、家族、仕事のバランスをうまくとりたい	ワーク・ライフ・バランス	ワーク・ライフ・バランスが実現可能なこと

企業に公表してほしい情報

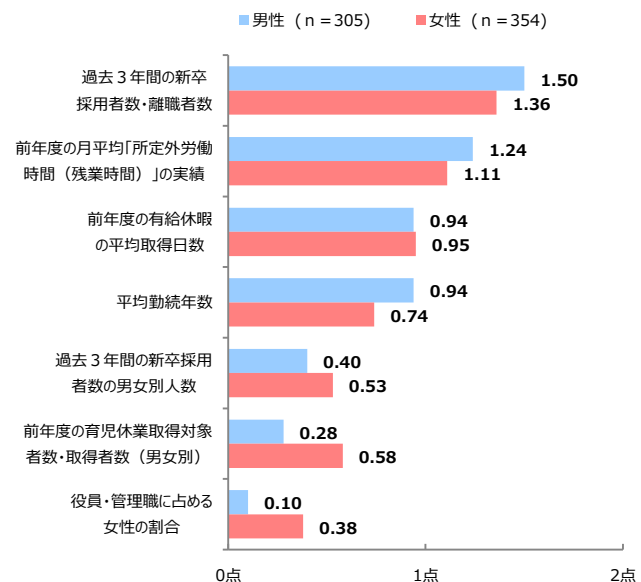
学生に、「過去3年間の新卒採用者数・離職者数」「過去3年間の新卒採用者数の男女別人数」等7項目のうち、どの情報を企業に公開してほしいか、1位から3位までの順位を聞いた。1位を3点、2位を2点、3位を1点として集計したところ、最も点数の高かった項目は「過去3年間の新卒採用者数・離職者数」、続いて「前年度の月平均「所定外労働時間（残業時間）」の実績」「前年度の有給休暇の平均取得日数」となった（図21.1）。

また、企業の新卒採用担当者1,000人を対象に行なった「2017年度新卒採用に関する企業調査（2016年3月1日状況）」において、同様の7項目を、“数値を把握しており、公表できる”“数値は把握しているが、公表できない”“わからない”の3つの選択肢で聞いた。“数値を把握しており、公表できる”と回答された割合が高い順に並べ、学生の結果と比較すると、“企業が公表できる”項目と“学生が公表してほしい”項目に、大きな食い違いが見られた（表21）。

【図21.1】企業に公表してほしい情報



【図21.2】企業に公表してほしい情報：男女別



【表21】企業に公表してほしい情報：企業調査との対比

項目	学生が“企業に公表してほしい”情報の順位	企業が“数値を把握しており、公表できる”情報の順位
過去3年間の新卒採用者数・離職者数	1	4
前年度の月平均「所定外労働時間（残業時間）」の実績	2	7
前年度の有給休暇の平均取得日数	3	5
平均勤続年数	4	3
過去3年間の新卒採用者数の男女別人数	5	2
前年度の育児休業取得対象者数・取得者数（男女別）	6	6
役員・管理職に占める女性の割合	7	1